

ズバリ聞きます!

6月議会・5人が一般質問

農業振興について



古閑 修一議員

問 県は東日本大震災支援策の一つとして、県内での就農を支援する事業をスタートさせたが、その内容と町としての対応について伺う。

答 (町長) 本県への移転経費の助成、住宅情報、民間住宅の無償提供などを支援する窓口を設置したが、今のところ申し出はないと聞いている。町の対応として、町内7つの農業法人に対し周知しながら受け入れの申し出はあっていない。

問 住宅の提供の意味からも私が以前から提案している空き家バンクの創設はどうなっているのか。

答 (総務課長) 空き家対策も含めて、地域おこし協力隊として4月から1名採用している。企画室内で、年度内に何らかの形で対応、対策をしていきたいと思っている。

問 中山間地域総合整備事業の進捗状況について伺う。

答 (事業課長) 本年度は、太田黒工区、大平・矢部谷工区の工事施工に向け準備中である。本年稲の収穫後工事の着手を予定している。

問 本年度予算は約8、000万円という事で、今後についても予算の獲得が厳しいのではないかと。国県への要望等について考えはないのか。

答 (事業課長) 南関町との協議会も含めて統一行動をとるしながら予算の獲得に向け頑張っていく。



圃場整備が待たれる大田黒地区

教育環境の整備について

問 学校統合建設の進捗状況について伺う。

答 (町長) 菊水・三加和両地区の建設予定地の地権者の御理解を頂き、本定例会に於いて、財産の取得について提案できる事を有り難く思っている。本事業に係る関係者方との協議、調整等についても順次進めている。今後、開校準備委員会等を設置し、大きく三つの部門を設けて進めていく。

答 (教育課長) 現在、敷地造成工事の実施設計を設計業者に発注している。

者に発注している。

答 統廃合によって生じる跡地の活用について考えていかなければならないが、執行部の対応として、企画課と財政係が一丸となって進められるような部署の体制を早急に整え、町民の方々の意見を聞く一方で、いろんな角度から跡地利用のシュミレーションを行い、財政面も示しながら住民の方々に説明をしていくべきではないか。

問 (総務課長) 本年度、職員による検討チームを設け検討していく。

答 (町長) 中学校は跡地も残るが、商業地帯でもあるし、上下水道も完備している。様々な考え方もあると思うが、経営的な感覚をもって、人口減少に歯止めをかける意味からも、しっかりと取り組んでいく。

問 10年後の生徒数を考える時、中学校の統合という事も考えられると思うが、現時点での考えを伺う。

答 (町長) 将来的に生徒数は少なくなるが、教育環境を整える事で逆に児童数を増やすという気持ちで取り組んでいる。

指定管理者施設について

問 今回の元気村役員の辞職については、会社は会社としてのルールというものがある訳ですので権限がある以上、

責任もあると思うが、どのように考えておられるのか。

答 (町長) 先日、元気村の決算報告を受け、大きな経常損失が出た事に関して非常に残念に思っている。今回の件に関しては、様々な面から検討を重ね、3月23日の臨時株主総会に於いて取締役の解任を承認し、新たな取締役を承認をした。責任問題については問わない。

問 本定例会での6、300万円の増資の提案について伺う。この一年しっかり運営を見守り、問題を検証してから今後の方向性を示すと聞かれるならば、その方向性を示してから増資を願うのが本来の形であると考え。せめて9月の中間決算を見てから提案すべきだと考えるがどうか。

何のための増資なのか、個人からの820万円の借金の返済に充てる一方、2、000万円の返済の為に6、300万円の増資と言われても理解できない。

答 (町長) 今回の7、000万円の減資、6、300万円の増資のお願いについては、財務体制の強化、そして、資金繰りの改善をお願いするものである。理解頂きたい。9月頃までには何らかの方向を示す事ができるかなというふうに思っている。